

# 平成 26 年第 2 回西海市議会定例会

## 市政一般に対する質問一覧

月 日	通告順	登壇順	氏 名	頁
6月17日(火)	1	1	岩 本 利 雄 議員	1
	2	2	淵 瀬 栄 子 議員	2
	3	3	渡 辺 督 郎 議員	3
	4	4	佐々木 義 信 議員	5
	5	5	中 野 良 雄 議員	5
6月18日(水)	6	1	小 嶋 俊 樹 議員	6
	7	2	田 口 昇 議員	7
	8	3	平 野 直 幸 議員	8
	9	4	朝 長 隆 洋 議員	9
	10	5	吉 田 年 位 議員	10
6月19日(木)	11	1	井 田 利 定 議員	11
	12	2	戸 浦 善 彦 議員	11
	13	3	田 崎 耕 太 議員	13

## 1. 岩本利雄議員

### 質問事項 1

#### 一体感の醸成と新庁舎建設について

#### 質問の要旨

- (1) 合併 10 周年目を迎えているが、市としての一体感の醸成の様子が見えてこない。一体感の醸成についての見解を伺う。
- (2) 一体感の醸成に向けた取組みとして、これからの西海市を担う子どもたちに焦点を当てたイベント（スポーツ・音楽・交流体験等）を、もっと企画すべきではないかと考えるが、現在どのようなものが実施されているか。
- (3) 新庁舎は新市としてのシンボルであり、一体感の醸成に向けた施策としては非常に効果的である。また、新庁舎の建設は、合理的な行政運営を可能とする重要な行政改革の一つである。合併 10 年目の節目の年に、新庁舎建設へ向けた本格的な準備をすべきと考える。市長の見解は。

### 質問事項 2

#### 繰越事業について

#### 質問の要旨

- (1) 繰越明許による繰越事業が依然として多い。事業の早期着工、進行管理の徹底、事務処理の効率化等への取組みはどうか。
- (2) 本年度の普通建設事業費は約 48 億円で、昨年度の本格予算と比較すると約 80%の伸びとなっており合併後一番大きい。それに前年度の繰越明許費分が加算される。

世間では資材の高騰と作業員不足で入札不調が話題になっている。入札不調により事業の遅れが発生し、繰越事業が発生させてはならないが、これらの西海市における影響は。

- (3) 合併後も景気は低迷し公共事業は激減した。そのため市内の関連業者は、事業の縮小や廃業等を余儀なくされてきた。現在の関連業者の実態は。

今後公共事業費の伸びが予測される。市内関連業者は、その伸びに対応できるか。

## 2. 湊 栄子 議員

### 質問事項 1

#### 防犯灯の管理について

#### 質問の要旨

市では地球温暖化防止など環境負荷軽減のため、市内防犯灯のLED化を計画していると聞く。

- (1) 各自治会で管理されている防犯灯の数と負担している電気料金はいくらになるのか。
- (2) 長与町では町が管理し、電気料金は町が全額負担している。故障などは、気づいた住民からの電話連絡で即時対応している。  
本市の場合は、電気料金について補助はあるものの自治会負担となっている。また、故障などの対応は、自治会長を通しての連絡になっている。  
この際、長与町方式に改善すべきではないか。
- (3) LED化計画はどのようにすすめていくのか。

### 質問事項 2

#### 公共交通について

#### 質問の要旨

住民の生活の足として、交通事業者の協力を得て、公共交通の整備や改善が必要である。

- (1) 市内を循環するコミュニティーバスや乗り合いタクシーの運行は、いつになるのか。
- (2) 準まちなか活性化計画において、公共交通の確保が必要であると思うが、買い物などの運行は考えているのか。
- (3) 利用者の要望を反映した路線バスの便数増大やダイヤ編成の取り組みはどうなっているのか。
- (4) スクールバスの児童・生徒の利用料を無料化し、住民も利用出来るように改善すべきではないか。
- (5) フェリー「みしま」のバリアフリーを伴う新船建造と便数を増大し利便性を高めるべきではないか。
- (6) 市営船ニュー松島丸とバスとの乗り継ぎは改善出来ているか。
- (7) 多目的船舶の運航及び管理に関する条例によれば、船舶の使用区分の(1)に患者の移送とあるが、「はやて2号」は十分に対応出来ているのか。市役所の用

件での利用が主になっているが、もっと住民が利用できるように改善すべきではないか。

- (8) 松島架橋は、早期建設期成会が設立されているが、予算は平成 25 年度も 26 年度も 5 万円しか組み立てられていないが、十分な取り組みが出来ているのか。

### 質問事項 3

#### 集団的自衛権の行使容認と憲法解釈の動きについて

##### 質問の要旨

憲法 9 条を守ろうと、東北各県の首長や首長経験者らが、5 月 16 日に「東北 6 県市町村長 9 条の会連合会」を結成した。

安倍首相が集団的自衛権の行使容認に向けた憲法解釈に踏み出したことを受け、「憲法 9 条を無きものにしようとしているのは暴挙だ」とするアピールを採択した。

連合会代表は、「戦争から市民の命を守ることが、市町村長の究極の使命だ」と話し、今後、全国の首長らに呼びかけるとしている。見解を伺う。

### 3. 渡 辺 督 郎 議員

#### 質問事項 1

##### 砂防堰堤（砂防ダム）の管理について

##### 質問の要旨

- (1) 砂防堰堤（砂防ダム）について、市が管理する砂防堰堤が市内に何か所あるのか。
- (2) 砂防堰堤の構造によっては、維持管理の必要な砂防堰堤があると思うが、どのような維持管理を行っているのか。
- (3) 満砂状態になっている砂防堰堤があるが、堰堤の嵩上げか、除石する必要があると思われる。見回りや、定期的な除石管理の必要があると思われるが如何か。

#### 質問事項 2

##### 日本創生会議の人口問題検討分科会の発表について

##### 質問の要旨

- (1) 今年 5 月に同分科会が、2040 年には若年女性の流出により、全国で 894 の市区町村が人口減少による消滅の可能性のある「消滅可能性都市」になると発表し

た。その 894 の中に、西海市が含まれている。

また、「ストップ少子化・地方元気戦略」によると、2012 年の日本の合計特殊出生率（以下「出生率」）は 1.41 であるが、これを 2025 年までに 1.8 に、さらに 2035 年までに 2.1 を実現できれば、日本の総人口は 9,500 万人で安定し、高齢化比率も 26.7%まで低下し、国全体の若返りが実現するとのことである。

県が公開している衛生統計年報（人口動態編）によると、平成 24 年の長崎県の出生率は 1.63、西海市は 2.13 で県内でも上位で、率的には既に 2.1 を達成しているが、「消滅回避」に向けての市長の考えを伺う。

- (2) 同レポートの中で、地方自治体の取り組みとして、地域戦略協議会の設置が謳われている。地域の問題は地域で決めるという考え方で、地域の人口減少対策を盛り込み、地域の「出生率目標」の設定を含んだ「地域版長期ビジョン」と「地域版総合戦略」を策定することが重要とある。地域戦略協議会を設置する考えはないか。

### 質問事項 3

#### 大瀬戸地区の活性化について

##### 質問の要旨

- (1) 西海市大瀬戸地区まちなか活性化基本計画が策定されたが、今後の具体的な取り組みについて伺う。
- (2) 瀬戸地区公民館、ふれあい市部分の再開発計画は、どのようになっているのか。

### 質問事項 4

#### NHKラジオ放送受信状況の調査と受信改善要望について

##### 質問の要旨

西海市内において、NHKラジオの受信状況が著しく悪いところがある。昼間は受信できても、夕方から夜にかけて受信困難な地域もある。災害時に停電することを考慮すると、ラジオは有効な情報入手媒体の一つである。受信状況を確認の上、NHKに受信改善を要望する考えはないか。

#### 4. 佐々木 義信 議員

##### 質問事項 1

###### 教育行政について

##### 質問の要旨

- (1) 教育長の平成 26 年度における教育行政に対する所信を伺う。
- (2) 小・中一貫教育及び連携教育の現状と今後の取組みについて伺う。
- (3) 小・中学校の英語教育の現状と今後の取組みについて伺う。
- (4) 教育及び社会体育施設等の屋内外施設のトイレ洋式化の現状と今後の計画について伺う。

##### 質問事項 2

###### 子ども・子育て支援新制度について

##### 質問の要旨

平成 24 年 8 月に制定された「子ども・子育て関連 3 法」に基づく子ども・子育て支援新制度が平成 27 年度からスタートするが、西海市における条例整備及び計画策定の状況について伺う。

##### 質問事項 3

###### 旧長崎オランダ村 C ゾーン利活用について

##### 質問の要旨

新聞報道で、ハウステンボスの澤田社長が、新施設用地の候補地の一つとして旧長崎オランダ村の C ゾーンを挙げていたが、その後進展はあったのか。

市は積極的に誘致すべきと考えるが、今後の対応は。

#### 5. 中野 良雄 議員

##### 質問事項 1

###### 橋の老朽化対策について

##### 質問の要旨

橋の耐用年数は一般的に 50 年程度と言われている。西海市内の橋は比較的に新しい橋が多いと言われているが、架設から 30 年以上経過した橋長 15m 以上の橋が 16 橋存在する。橋の老朽化が進むと損傷や事故が起きる可能性が高くなるが、適切な点検と補修を行うことで橋の延命が図られ、コスト縮減に繋がると言われている。

る。

以下、3点について伺う。

- (1) 橋梁の維持管理は、現状どのように行っているか。
- (2) 橋長 15m以上の橋梁の長寿命化対策について、具体的な取組内容を伺う。
- (3) 橋長 15m未満の橋梁の長寿命化対策について、具体的な取組内容を伺う。

## 質問事項 2

### 西海市エネルギー回収推進施設整備・運営事業の進捗状況について

#### 質問の要旨

ごみ処理施設の炭化方式は、高度な技術を要し、施設が複雑になっていることから、維持管理費用が割高となる可能性や、性能発注の場合は、契約後の設計・施工監理の重要性が指摘されている。

また、西海市エネルギー回収推進施設整備・運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」）では多くの問題点や留意点が指摘されていた。

以下、3点について伺う。

- (1) 西海市エネルギー回収推進施設整備・運営事業の進捗状況はどうなっているか。
- (2) 選定委員会で指摘された問題や留意点は解消されているか。
- (3) 運転員等の地元採用の見通しと教育訓練計画策定状況はどうなっているか。

## 6. 小 嶋 俊 樹 議員

### 質問事項 1

#### 制度改革について

#### 質問の要旨

過疎地域自立促進特別措置法の一部が改正され、改正過疎法が施行された。過疎に指定された市町村が 797 に増えたが、持続可能な地域を再生するためには行政の特別な指導が急務であると考え、次の3点について伺いたい。

- (1) 行政区長・分区長制度等、各種行政関係の職務が高齢化と共に維持困難になりつつあり、今後、制度改革が必要ではないか。
- (2) 将来的に行政サービスが立ち行かなくなる可能性がある市町村は 900 近いと日本創生会議の人口減少問題検討分科会が発表した。

若者が定住できるような魅力ある地域を創り出すには、伝統的な風習や制度維持を第一とした保守的な考え方だけではなく、西海市における多様で自由度の高

い生活を保障すること、言わば、定住者の選択肢を用意するといった、ある意味で地域の寛容さというものも必要になって来るのではないか。そのためには、自治会の制度としての在り方や行政との関わりの中での位置付けなど、地域における現行制度の再考も必要と考えるが如何か。

- (3) 若者の農山村志向は新しい流れで、総務省の地域おこし協力隊等の政策も実施されているが、市も独自の発想で農業・水産業・観光を含めた6次産業の起業者を生み出す支援制度を急ぐべきではないか。

## 質問事項 2

### 図書館の活性化について

#### 質問の要旨

- (1) 学校図書館法が改正され、学校図書の実充が図られるように促されているが、授業で利活用しやすい環境整備は十分なされているか。
- (2) 図書館や学校図書室との連携で小学校はもとより、中学・高校の学力向上につながる司書の配置などの施策は十分図られているか。

## 7. 田 口 昇 議員

### 質問事項 1

#### 旧長崎オランダ村施設の再生について

#### 質問の要旨

- (1) Bゾーン利活用事業者の提案公募の結果は。また、今後のスケジュールと取組みを伺う。
- (2) 電気、水道、浄化槽等のインフラ整備、建物の屋根及び外壁、海上デッキ改修に係る工事請負費予算は現在計上できていないが、今後の事業推進に影響はないか。

また、当該工事請負費の補正予算計上はいつになる見込みか。

- (3) 5月1日付の長崎新聞で「ハウステンボスが新施設用地として旧長崎オランダ村を検討している」と報道され、5月8日の全員協議会でも説明を受けたが、その後の経過はどうなっているか。

### 質問事項 2

#### 西海市工業団地整備事業について

## 質問の要旨

- (1) 事業の進捗状況は。
- (2) 造成工事が急ピッチで進められているが、雨期に入り防災対策は万全か。
- (3) 樹木の伐採、造成で棲みかがなくなったイノシシが人里に下り、被害が多くなつたと聞くが、対策は。
- (4) 企業誘致活動の進捗状況は。

## 質問事項 3

### 大村湾横断浮橋架橋構想の推進について

## 質問の要旨

関係自治体の動向は。また、西海市としての取組みの計画は。

## 8. 平野直幸議員

### 質問事項 1

#### 畜産の振興について

## 質問の要旨

西海市の農業産出額は、平成 18 年度統計によると全体が約 105 億円で、うち耕種農業の分野では果実が約 20 億円、野菜が約 16 億円となっているが、畜産の分野は、豚が約 32.9 億円、肉用牛が約 17 億円、鶏が約 4.5 億円、畜産の合計では約 54.4 億円など、算出額の半分以上を畜産が占めている。

また、総合計画の後期計画の中では、伝染病対策の強化と畜産農家の経営安定に努める内容となっている。

今日、耕種農業にあつては農業の底上げや支援策を講じているところであり、農業振興のまちとして評価している。

そこで、特に、西海市の農業を牽引し、農業産出額でも期待されている畜産について、これからどのように振興していくのか、その方策について豚、牛、鶏の区分で以下の点について伺う。

- (1) 畜産振興計画書が必要ではないか。
- (2) 畜産の防疫体制に課題はないか。
- (3) 畜産の廃棄物対策は万全か。
- (4) TPP を見据えた畜産農家支援の強化は。

## 9. 朝 長 隆 洋 議員

### 質問事項 1

#### 市内高校活性化に関する協議会の設置等について

#### 質問の要旨

- (1) 現在の西海市には、西彼農業高校、西彼杵高等学校、大崎高等学校の3校があるが、近年の志望者数、入学者数は年々減少しており、市としても積極的に支援体制を構築する必要がある。

特に交通アクセスの問題など、高校活性化に向け現状の課題に対応するための協議会を設置し、県にも協力を求め一体となった支援を進めるべきではないか。

- (2) 大崎中学校、大崎高校が連携して活動していることと同様に、市内の中学校を含めた連携の在り方を考えるべきではないか。

### 質問事項 2

#### 市民協働を踏まえた西海市のスポーツ振興について

#### 質問の要旨

様々なスポーツ団体の指導者が、市内のスポーツ施設を利用して、県内はもとより、県外からもチームを招集して大会を開催するなど努力されているが、西海市の積極的関与があまり見られない。これまで国体を目前に、市民協働での取組みについて提言してきた。五島市などは、積極的に誘致に関与しているが、西海市として今後どのように取り組む考えか。

### 質問事項 3

#### 中学校運動クラブが存続の危機にある現状を踏まえた対策について

#### 質問の要旨

中学校の運動クラブが、部員数の減少によって中体連すら運営できない状況になってきている。

今後どのように進める考えか。

### 質問事項 4

#### 指導者の支援体制整備について

#### 質問の要旨

中学校の指導者はもとより、社会体育の指導者に対し、適切な支援体制が出来ているだろうか。

指導される多くの方達、例えば学校の教職員の方々も熱心に土日を割いて努力されている。

また、一般の指導者の方々もかなり負担を感じながらも、懸命に指導に当たられている。そのような努力を正当に評価し、安心して指導できる体制を整えなければならないと考えるが、市としての考え方は。

## 10. 吉田年位議員

### 質問事項1

#### 農水産振興について

#### 質問の要旨

- (1) 農水産業は市の中核産業として、それぞれの従事者は一生懸命頑張っているところであるが、TPP問題等々で不安を持っていることだと思う。市長はどう考えているか。
- (2) 有害鳥獣捕獲数の今年度の目標とイノシシによる被害状況をどのようにとらえているか。(農道、土手等)
- (3) イノシシ等有害鳥獣の増加に伴い、マダニによる健康被害が危惧されている。被害予防について、市民への周知が必要ではないか。

### 質問事項2

#### 田ノ浦～塔ノ尾線について

#### 質問の要旨

馬込～西大島～中戸、いわゆる大島循環線の整備・充実は、大島地区全体の活性化及び地域道路の利便性の向上のためには欠かせないものであると考える。特に、田ノ浦～塔ノ尾線の改良については、幾度となく質問をしているが、合併前からの長年の悲願であり、関係地区住民の生活の向上のため、渴望されているものである。

中戸～西大島～馬込間について、県道への昇格要望を行うなど、改良事業の早期着手に向けた可能性について、市長の考えを伺う。

## 11. 井田利定議員

### 質問事項 1

#### 人口減少問題対策及び住宅政策について

#### 質問の要旨

- (1) 合併時の新市建設計画より大幅な人口減少で推移しているが、現状をどのように捉えているか。また、問題解決へ向けた市長の考えを伺う。
- (2) 人口減少がもたらす行政運営への影響をどのように捉えているか。
- (3) 定住化促進団地の造成についてどのように取り組んでいく考えか。
- (4) 既存の市営住宅の維持管理及び今後の建設計画について伺う。
- (5) 民間の空き家への移住希望の状況について伺う。
- (6) 西海市空き家等の適正管理に関する条例が制定され、26年4月1日より施行となっているが、現在までの受付状況を伺う。また問題点がなかったか伺う。

### 質問事項 2

#### 市道及び生活道路等のインフラ整備について

#### 質問の要旨

- (1) 防災・減災等に資する国土強靱化基本法成立により、市町村では国土強靱化地域計画の策定が責務と定められている。策定に向けた現在の進捗状況について伺う。
- (2) 大雨、台風災害対策は万全であるか伺う。
- (3) インフラ整備等についての地域からの要望について、受付から解決に至るまでの事務の流れについて伺う。
- (4) 辺地に係る総合整備計画の西彼町大串郷の河内岳地域の道路整備について、平成25年度に工事延長741mで完成となっているが、本路線は残り300mくらいあり、未整備である。当初の整備計画に誤りはなかったのか伺う。

## 12. 戸浦善彦議員

### 質問事項 1

#### 米海軍横瀬貯油所L C A C施設について

#### 質問の要旨

- (1) 協定書と現状との相違点があるとした場合、現時点でどのような事と認識しているか。

- (2) 現在の米海軍の通勤実態はどのような状況か（通勤者数と通勤方法等）。
- (3) 施設の開設当初に数か月実施された 米海軍の海上通勤は、いつ再開されるのか。

## 質問事項 2

### 西海市の地域振興策について

#### 質問の要旨

- (1) 西海市が考える地域振興策の在り方として、各地区の実情に対し、均等に配慮した施策を実施すべきと思うが如何か。
- (2) 光ケーブルの整備に関し、次の点について伺う。
  - ・西海市の現状（敷設状況）について
  - ・未整備地域のネット環境の現状について
  - ・今後の整備計画について
- (3) 米海軍横瀬貯油所周辺地域の整備計画の内容について伺う。
- (4) 横瀬港周辺地域の振興と施設整備に関し、次の点について伺う。
  - ・横瀬棧橋付近へのバス停移動に向けた取組みの現状について
  - ・これに伴う横瀬棧橋から横瀬公園入口間の道路拡張について

## 質問事項 3

### 西海「おもてなし」について

#### 質問の要旨

- (1) 西海市が考える「おもてなし」とはどのようなものと捉えているか伺う。
- (2) がんばらんば国体に向けて、来場者に対する「おもてなし」として、どのような対応を考えているか伺う。
- (3) 全国鍾乳洞サミットに向けて、来場者に対する「おもてなし」として、どのような対応を考えているか伺う。
- (4) おもてなしの一環として、西海市内の良好な景観づくりその他環境整備も必要と思うが、これに関し、次の点について伺う。
  - ・来訪者向けの看板、案内板等の整備について
  - ・市道の管理状況はどうなっているか。
  - ・水浦高地線路面の復旧予定はいつ頃か。
  - ・丹納面高線路面の復旧予定はいつ頃か。
  - ・オレンジロード沿いに草が非常に繁茂しているが、その対策について伺う。

#### 質問事項 4

西海市の人口減対策について

##### 質問の要旨

各種産業別（農林水産、畜産、商工業等）の後継者対策について伺う。

#### 質問事項 5

西海学を含む西海市の郷土学に関する事業の現状等について

##### 質問の要旨

- (1) 現在の実施状況について伺う。
- (2) 今後の関係事業の予定について伺う。

### 13. 田 崎 耕 太 議員

#### 質問事項 1

公文書管理について

##### 質問の要旨

- (1) 予算決算常任委員会の議事録(平成25年6月定例会～平成26年3月定例会分)に関する事務処理の大幅な遅滞と職務怠慢、不正な事務処理(録音機及び議事録原本の私物化・外部への持ち出し等)の事実関係について
- (2) 当該不祥事に係る組織運営上の問題点及び市長部局から出向を命じ、それを解くという実質的意味における責任の所在に関する市の認識見解について
- (3) 今後の公文書管理に関する方針を含めた総括と行政改革について

#### 質問事項 2

図書室(館)図書の管理について

##### 質問の要旨

- (1) 図書室(館)図書の廃棄基準について
- (2) 合併当初から今日に至るまでの間における図書室(館)図書の管理に関する事務処理方法について

#### 質問事項 3

教員と教科書使用義務と教科指導上の管理責任について

##### 質問の要旨

- (1) 市内公立学校における教員の教科書使用義務違反の事例の有無について
- (2) 市内公立学校における教員の教科指導において、学習指導要領の遵守、未履修も含めた進捗管理は計画的かつ適切な履行がなされているか。